



上越市安塚区 おぐろ地域 将来ビジョン

おぐろ地域活性化協議会

平成28年度農山漁村振興交付金事業

市道沼木線展望台より「小黒・和田集落」を望む



会長挨拶

切越のダムは、安塚区の最も重要な飲料水源地であります。行野の大地主であった横尾義智氏は、ろうあ者で小黒村の村長を12年間勤め、生誕の地、行野の記念館へは全国からろうあ者が訪ねて来られます。また、親鸞聖人の長女「おぐろ女房」の嫁がれた地と言われるこの地。小黒に総樺造りの専敬寺を中心とした4つのお寺が隣立しております。和田の菱神社も古い歴史を物語っています。

おぐろの地域（8集落）には、四季折々の良さや、コシヒカリのハサ掛け米、自然の恵み等、まだまだ誇れる多くの資源があります。しかしながら豊かな農地も荒廃し、過疎化による空き家も目立つこの頃です。

この地域での暮らしを今一度皆で見直し、元気なおぐろ地域にしよう。過去2回の10ヶ年計画も17年度で満了する矢先に農山漁村振興交付金事業に応募し、採択されました。

皆で話し合い、目標を定め、目標に向かって一歩々歩んで行こうではありませんか。皆の知恵の結集「おぐろ地域の将来ビジョン」に沿って、皆の汗で、おぐろ地域に新たな歴史を築いてまいりましょう。

おぐろ地域活性化協議会 会長 八木勇二

ビジョンづくりに取り組む目的

おぐろ地域は中山間地域が抱える共通の課題である高齢化・少子化が進行しています。このままでは更なる過疎化の進行を招くことは必至です。

しかし、この地域には、他にない歴史的遺産、先人の残した棚田、里山がもたらす恵み、そして豊かな人間性があります。これらの良さを皆で見つめ直し、活用することで、安心して暮らせる助け合い（結）の心の定着、農業所得の向上、新規定住者の増加、世代を超えた交流促進を図り、皆で行動していくために将来ビジョンを作成しました。

そして、この交付金が終了した後も、取組が確実に継続されることを目指します。



小黒 専敬寺本堂



行野 横尾家雪室

事業実施主体の構成員

構成員となる個人及び団体	法人形態等	主な活動	構成員数（従業員数）
行野自治会	地縁団体	自治会活動	18戸
和田自治会			70戸
大原地縁団体			27戸
芹田自治会			11戸
小黒自治会			39戸
切越自治会			17戸
菅沼自治会			13戸
朴の木自治会			14戸
上越市	行政組織	—	—

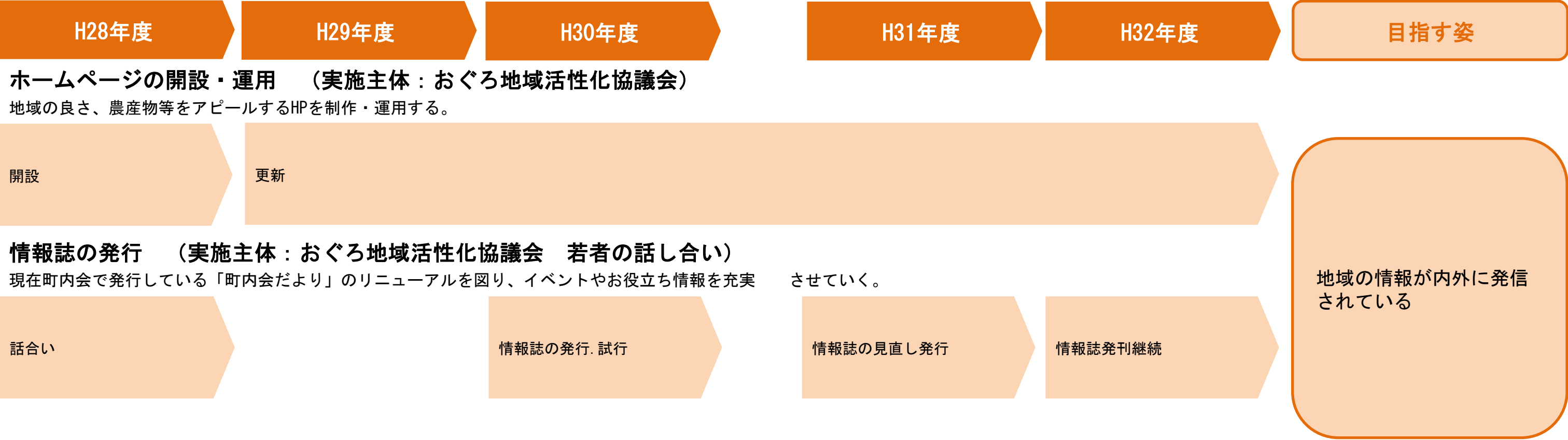
取組において連携する個人及び団体	法人形態等	主な活動	構成員数（従業員数）
おぐろ町内会	地域住民団体	自治会活動	209戸
NPO法人 雪のふるさと安塚	NPO	自治会活動支援	902人
手づくり百人協同組合	事業協同組合	農産物・農産加工品 製造販売	組合員 85人
灯グループ	個人	農産物加工品製造・ 販売	2人
エコフレンドリー・ スタジオ	個人	農産物集出荷所 「寄り所」提供と 協議会事務所の支援	2人
農業生産法人 （株）えちご棚田文化研究所	株式会社	地域の農業振興	3名
新潟県上越地域振興局 農林振興部 上越東農林事務所	行政組織	農業振興に関する支援	—
えちご上越 農業協同組合	農業協同組合	営農指導活動	組合員数 41,105人 職員数 1,198人

おぐろ地域 将来ビジョン概略

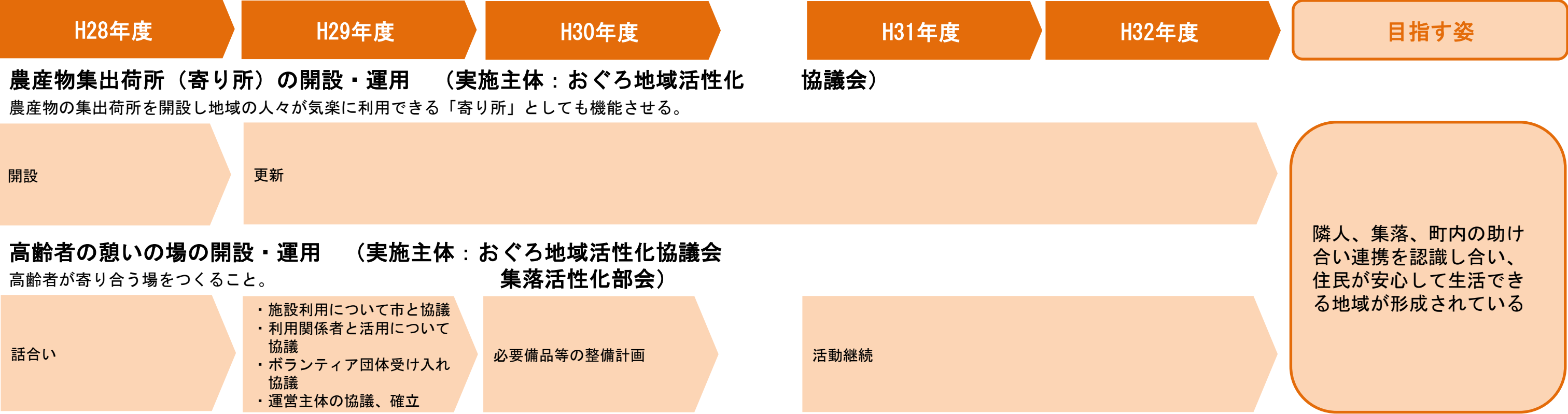
目指す姿・取り組み内容・実施主体 一覧表

	5年後に目指す地域の姿	取り組み内容	実施主体
集落運営と暮らし	○隣人、集落、町内の助け合い連携を認識し合い、安心して生活できる地域が形成されている。 ○多世代の交流が活発な地域になっている。 ○様々な住民活動、共同作業が活発に行われている。 ○地域の情報が内外に発信されている。	○情報発信 ホームページの開設・運用 情報誌の発行 ○交流スペースの開設 寄り所の開設・運用 高齢者の憩いの場の開設・運用 ○地域交流活動 若者の話し合い開催 創作グループ活動の実施 多世代交流会の開催 ○共同作業 総合防災避難訓練の実施 花の植栽活動の実施 高齢者の暮らしを助ける事業の実施 ○集落運営 ○地域の魅力発掘 集落運営、しきたりの簡素化 各集落の魅力再確認 集落史の作成	おぐろ地域活性化協議会 若者の話し合い 集落活性化部会 自治会
山の恵み活用	○山うどの生産 塩漬け加工品製造販売が5000パックになっている。 ○山かんぴょうの販売が5000パックになっている。 ○山クルミの販売が5000パックになっている。 ○山の恵み商品全部で7品程度開発されている。	○山うどの塩漬け加工品の開発販売 ○山かんぴょう（ギボウシ）の生産販売 ○山クルミの販売 ○その他商品開発	おぐろ町内会 おぐろ地域活性化協議会 山の恵み部会
空き家の管理・活用	○空き家管理業を法人化している。 ○管理世帯20軒以上を確保する事で2人程度を雇用している ○移住者が毎年1組程度ずつ増えている。	○空き家調査 ○空き家管理マニュアル・パンフレット ○HPへの空き家情報掲載 ○空き家の管理 ○空き家の斡旋	おぐろ地域活性化協議会 空き家部会
米の生産・販売	○「おぐろ産の米」が統一した名前、品質、栽培方法で生産・販売されている	○おぐろ地域の推奨統一シールの作成 ○米の品質基準を決める ○良質米生産に係る環境整備 ○販売PR	生産部会

集落活性化 ―情報発信



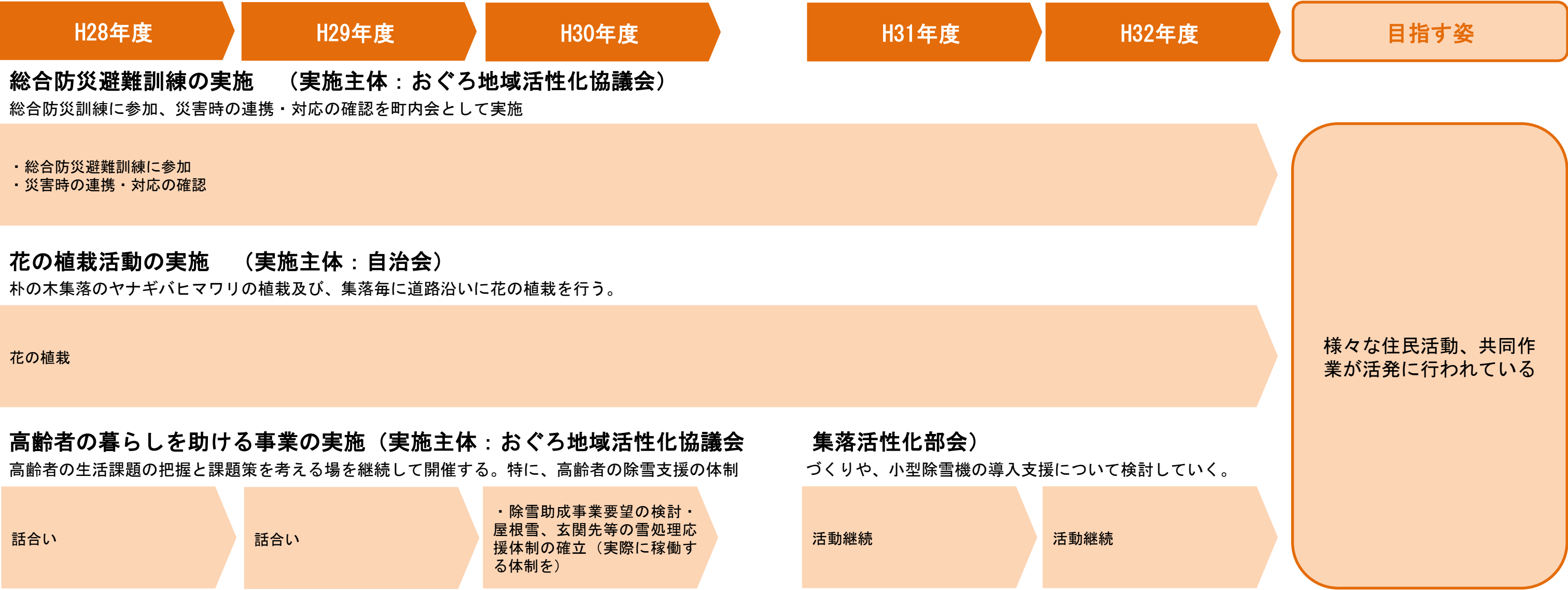
集落活性化 ―交流スペースの開設



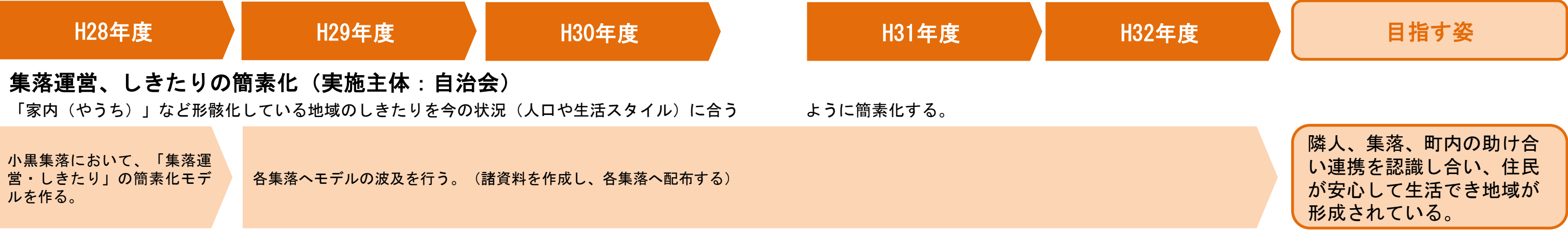
集落活性化 ―地域交流活動



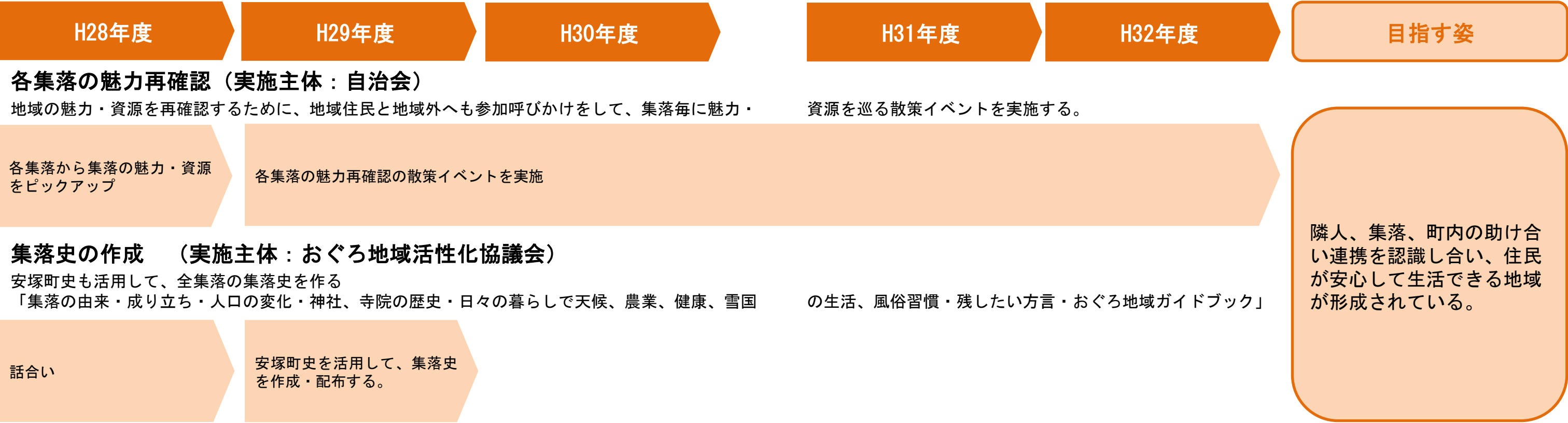
集落活性化 ―共同作業



集落活性化 ―集落運営



集落活性化 ―地域の魅力発掘



部会の取り纏め担当者

集落活性化部会

- 部会長：八木 勇二、副部会長：岩崎 新一郎
- 高齢者の話し合い 主任：笹崎 誠、 副主任：岩崎 修
- 女性の話し合い 主任：小松 光代、副主任：仙田 美津子
- 若者の話し合い 主任：渡辺 雅孝、副主任：秋山 勇

山の恵み部会

部会長：岩崎 欣一、副部会長：滝沢 恵

空き家部会

部会長：小山 春高、副部会長：仙田 一正

生産部会

部会長：数井 憲一、副部会長：池田 三

事務局

岡 武夫、南雲 二郎、松苗 正二

ワークショップ参加実員52名



ワークショップ其々の思い



将来ビジョンの検討会

“山の恵み”活用

『農村社会が経済だ。』を実現することを目的に、地区内に豊かにある山の恵みの栽培や販売を行っていく。

実施主体：おぐろ町内会、おぐろ地域活性化協議会、山の恵み部会

H28年度

H29年度

H30年度

山うどの塩漬け加工品の開発販売

おぐろ町内でのウド畑の適地を探るためいくつかの圃場での実験的な栽培をする。

・ うど苗の購入植栽
(450本)
・ 山うどの塩漬け加工品の
試作

・ 山うどの苗づくり植栽
・ 山うど加工品の試作販売
(山うど商品100パック)

・ 山うどの苗づくり、植栽
・ 山うど加工品の試作販売
(山うど商品500パック)

山かんぴょう（ギボウシ）の生産販売

朴の木集落内のウド畑の一部を活用してギボウシの生産・販売をする。

山かんぴょうの試作
(1k g 製造)

山かんぴょうの製造販売
(100 g 200パック)

山かんぴょうの製造販売
(100 g 500パック)

山クルミの販売

町内の皆さんに協力してもらい、寄り所へ山クルミを集荷する。クルミを剥く作業等は、地域の高

山クルミの試験販売
(殻付きで200 k g 試作)

山クルミの製造販売
(50 g 300パック)

山クルミの製造販売
(50 g 500パック)

その他商品開発

地域内の資源の商品開発を検討する。

山の恵み商品開発の検討

山の恵み商品をさらに一品試
作（毎年）

山の恵み商品をさらに一品試
作（毎年）

おぐろ地域推奨シールの作成

加工品等に推奨シールを貼付し販売を促進する。

シールのデザイン印刷

印刷

H31年度

H32年度

目指す姿

・ 山うどの苗づくり
・ 植栽、山うど加工品の試作
販売
(山うど商品1000パック)

・ 山うどの苗づくり、植栽
・ 山うど加工品の試作販売
(山うど商品3000パック)

山うどの生産
塩漬け加工品製造販売
5000パック

山かんぴょうの製造販売
(100 g 1000パック)

山かんぴょうの製造販売
(100 g 3000パック)

山かんぴょうの販売
5000パック

齢者や施設との連携を試行的に実施する。

山クルミの製造販売
(50 g 1000パック)

山クルミの製造販売
(50 g 3000パック)

山クルミの販売
5000パック

山の恵み商品をさらに一品試
作（毎年）

山の恵み商品をさらに一品試
作（毎年）

山の恵み商品全部で7品程
度開発

商品のイメージアップ
販売促進

“空き家”の管理・活用

空き家を無くし、地域を活性化する事で町内会を明るくすることを目的に、空き家の調査、管理、斡旋を行う。

実施主体：おぐろ地域活性化協議会・空き家部会



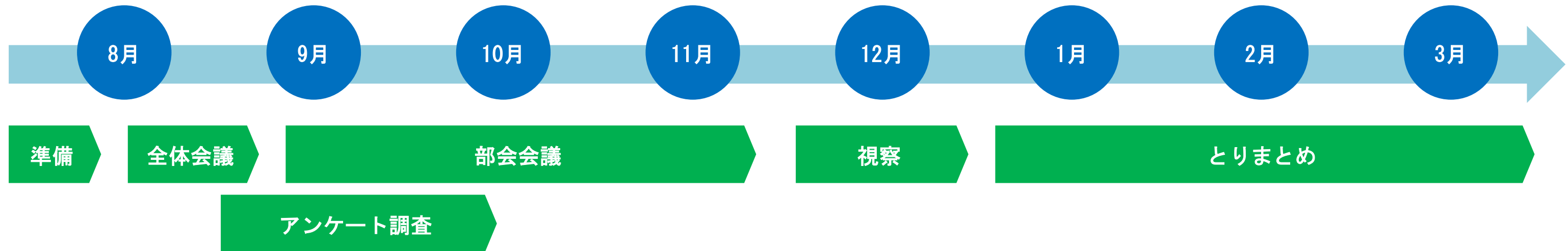
“米”の生産・販売

米の生産方法の統一化と独自の商標登録による販売システムの確立することを目的に活動する。

実施主体：おぐろ地域活性化協議会 生産部会



ビジョンづくりを振り返って



全体会議（8月）

地域のビジョンづくりの話し合いのキックオフの場として開催した。今後の部会活動を中心に、今後のスケジュールや話し合いの内容について説明をした。

○日時：8月28日（日）19:30～20:30

アンケート（9月～10月）

各部会の検討に参考とするための項目についてアンケートを取った。

問1. 暮らしぶり（年収など）／問2. 集落活動について（連携）
問3. 山の恵みについて（採取している資源等）／問4. 空き家について（将来の意向）／問5. 農産物の生産・加工・販売について

○日時：9月～10月
○回収 164戸／216戸



部会会議（9月～11月）

4つの部会と、3つの世代別・性別の話し合いの場を各2～3回セットし、各テーマで地域の現状把握、今後の地域づくりの方針、具体的な取り組み内容について検討した。

■集落活性化部会

- 第1回 9月28日 参加者 9名
ー集落の現状把握（集落運営）
- 第2回 10月17日 参加者11名
ー集落の現状把握（住民の暮らし）
- 第3回 10月31日 参加者11名
ー今後の取り組みの方針

▼高齢者の話し合い

- 第1回 9月28日 参加者13名
ー現状把握と活性化策①
- 第2回 10月25日 参加者 9名
ー現状把握と活性化策②

▼若者の話し合い

- 第1回 10月 5日 参加者 5名
ー地域の気になること
- 第2回 10月26日 参加者 9名
ー若者交流会

▼女性の話し合い

- 第1回 10月10日 参加者11名
ー地域の気になること

■生産部会

- 第1回 9月26日 参加者10名
ー米の生産、販売の現状把握、食味検査
- 第2回 11月15日 参加者10名
ー食味検査の結果共有、ブランド化に向けた課題整理

■空き家部会

- 第1回 9月22日 参加者9名
ー空き家の見学
- 第2回 10月20日 参加者9名
ー空き家管理サービス、課題整理
- 第3回 11月14日 参加者12名
ーイナカレッジインターン生を迎えての移住者の体験談

■山の恵み部会

- 第1回 10月 3日 参加者10名
ー一部会長からの話題提供をもとに、活用できる資源のアイデア出し。
- 第2回 10月19日 参加者11名
ーウド、ギボウシの栽培について
- 第3回 11月 7日 参加者11名
ーそのほかの資源案出し。

視察研修（12月）

各部会で話題になったテーマに合わせて、十日町市の以下2か所へ視察研修へ行った・

○日時：12月18日（日）参加者：24名

○訪問先

□十日町市飛渡地区

昨年度集落活性化支援事業を活用してビジョンづくりを行った地区。

- ・ビジョンづくりとその後の取り組み
- ・移住者受け入れの取り組み
- ・米の直販事業等の農業の取り組み

□カフェ&レストラン澁い

移住して開業したカフェの視察



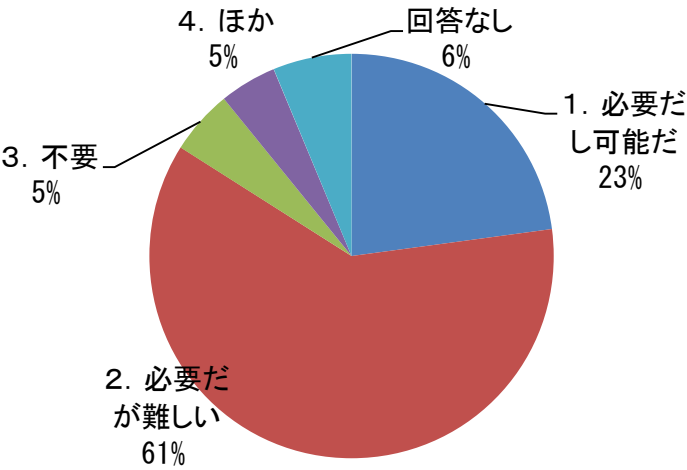
おぐろ町内会アンケート 報告

本アンケートは、町内の皆さんの意見や提案、将来の希望などをお聞きすることを目的に実施いたしました。（平成28年9月～10月実施）

	配布	回収	回収率	平均年齢	男	女	回答者合計
朴の木	13戸	13戸	100%	70歳	10人	3人	13人
菅沼	13戸	10戸	77%	74歳	4人	5人	9人
切越	17戸	17戸	100%	74歳	8人	8人	16人
小黑	39戸	32戸	82%	64歳	25人	4人	29人
芹田	11戸	10戸	91%	71歳	9人	1人	10人
和田	70戸	54戸	77%	68歳	37人	14人	51人
大原	31戸	24戸	77%	67歳	17人	5人	22人
行野	22戸	15戸	68%	72歳	10人	4人	14人
合計	216戸	175戸	81%	69歳	120人	44人	164人

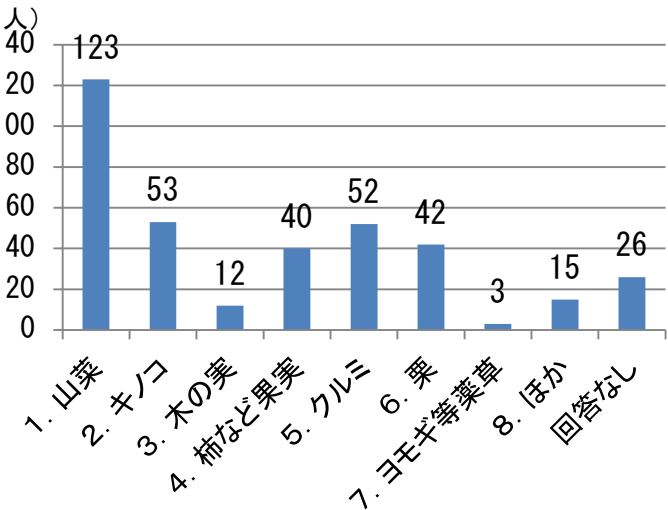
問 1．集落活動について

（１）集落の人口が減り、自治活動や共同作業が困難になった場合、近隣集落との連携は必要だと思いますか？また可能だと思いますか？

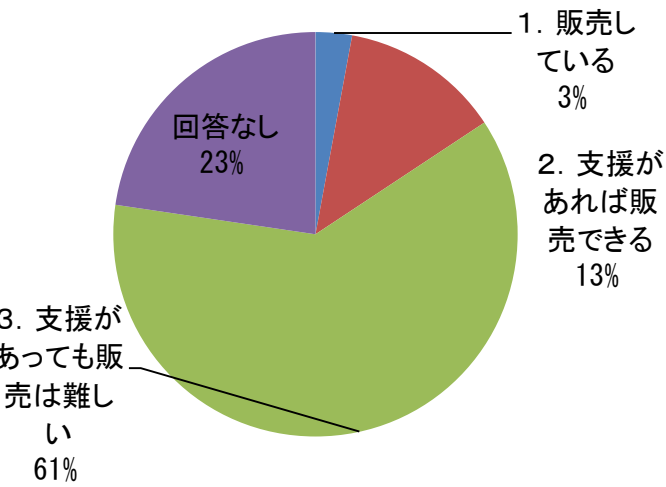


問 2．山の恵みについて

（１）あなたが山で採取しているもの（自家用・販売用）を以下から選んでください（いくつでも）

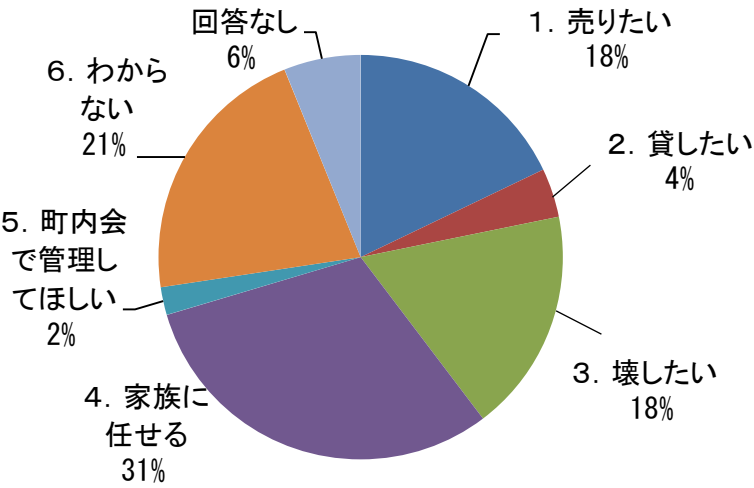


（２）あなたは、自身で採取している山の恵みを、販売していますか？又は「簡易な出荷や販路など支援」があれば、販売できますか？

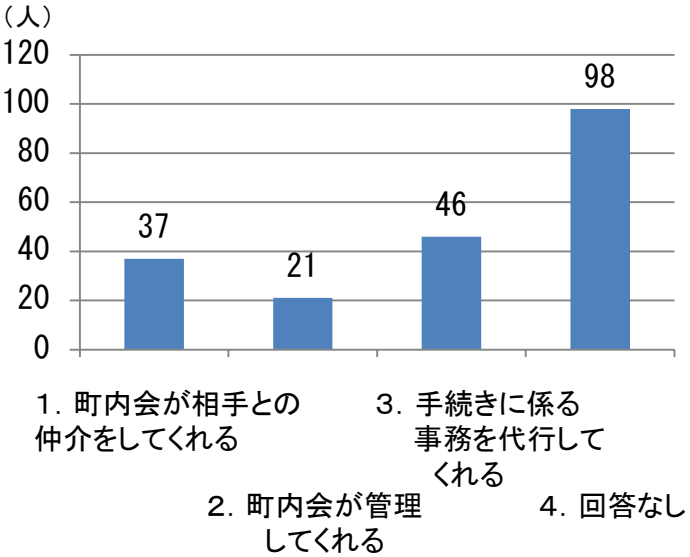


問 3．空き家について

（１）あなたは、自分の家が将来空き家になったとしたらどうしたいですか？

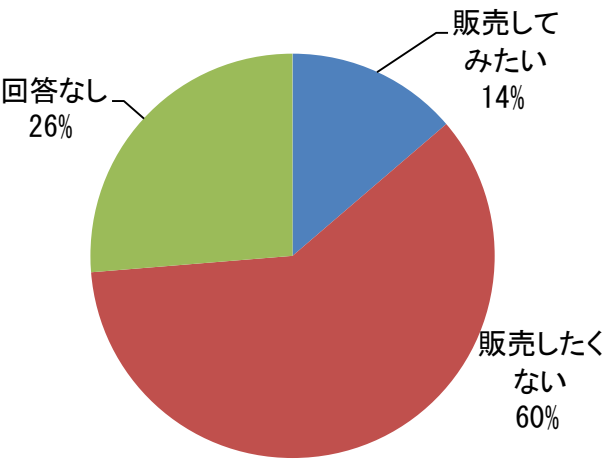


（２）どんなサポートがあれば人に売ったり、貸したりしてもいいですか？（いくつでも）

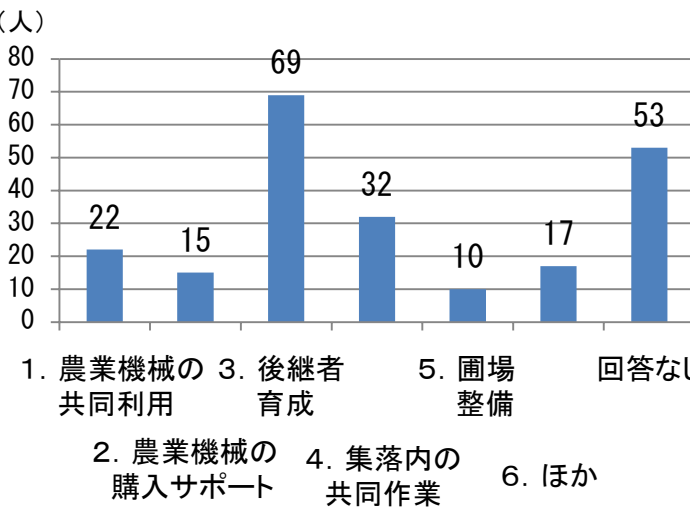


問 4．農作物の生産・加工・販売について

（１）販売のサポート（販路開拓、全量買い取りなど）があれば、米や野菜、加工品の販売をしてみたいですか？またどんなサポートが必要ですか？

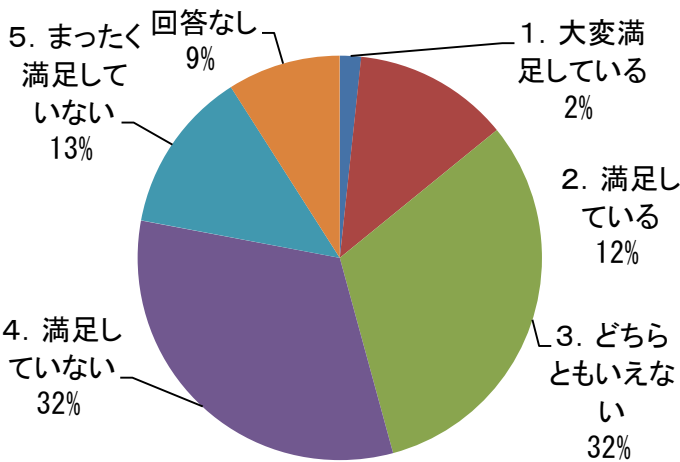


（２）今後、集落の田んぼが守られていくために必要なことは何だと思いませんか？



問 5．あなたの暮らしぶりについてお答えください

（１）あなたは現在の年収に満足していますか？



（２）満足していない方は、毎月あといくらあれば満足できますか？

